

質問 インフルエンザ補助が他市町村との違いがあるのはなぜか。

回答 新型コロナウイルス関係の地方創生臨時交付金の使い道は、市町村毎の計画に基づき国・県より交付決定がなされるため、そのために補助費用については市町村によっての違いがあります。(議会)

質問 防災無線の個別受信機が聞こえない時がある。

回答 個別受信機が聞こえない場合は、連絡いただければ、業者が確認のうえ、外部アンテナを設置いたします。(外壁にアンテナを通す穴を開けることとなりますので、ご了承ください。)(住民税務課)

質問 空き家対策事業をもっと進めてほしい。空き家を利活用して移住者が来るような事業をもっと進めてほしい。

回答 舟形は住みやすい街だと思っています。現在、町では子育て支援の事業に重点を置き人口の定着、移住・定住出来るまちを目指しています。(議会)

質問 防災無線で、ぬか焼きの届出を行政に申告すると焼いて良いと放送されたが、どうなのか。

回答 くん炭づくりの場合、農業振興課に火入れを申請し許可が必要です。最上広域消防南支署には農業振興課より連絡をします。(議会)



洲崎公民館



福寿野公民館

質問 スクールバスの乗り場に屋根付きの待合所がほしい。

回答 スクールバスの乗り場は、地域からの要望(子どもの数や乗り場までの距離)により変更されることがありますので、固定物を設置してしまうと要望に柔軟に対応できなくなる可能性があり、難しいと考えます。(教育課)

質問 令和2年度の歳入予算で、町債の金額が多くなっているが、町の財政は大丈夫なのか。

回答 令和2年度の町債については10億1530万円の予算となっていますが、交付税算入割合の多い地方債を選択したり、国・県の有利な補助制度を活用したり職員は努力している。財政健全化法に基づく各財政指標は、国の基準内にあり当町の財政は健全であると判断しています。(議会)

質問 子育て住宅の年齢制限を廃止し、ずっと入居可能なように出来ないか。

回答 間取りや家賃等、子育て支援を目的に設定しております。ずっと入居できる一般住宅とは異なるものをご理解下さい。(地域整備課)

退去後は定住型住宅建設用の宅地整備をほほえみ保育園向かいに整備をしています。一般販売用の土地は既に完売していますが、ハイムひだまり入居者用の土地は数区画販売中です。(議会)

第13回議会報告会

10月22~23日に議会報告会を開催し、各会場でいただいた質問や意見、要望事項を検討し、回答書を作成しました。主な質問と回答は次のとおりです。(回答書より抜粋)

議会に対する意見

質問 町内会ごとの陳情請願の項目が増えていく一方だが、議員との共有は、図られているのか。

回答 町に提出された陳情等は、その内容を町から情報提供していただき、町と議会との共有を図っていききたい。(議会)

質問 議会の新型コロナウイルス感染対策特別委員会の設置が6月になった訳は。

回答 特別委員会設置前は、町の感染症対策についての説明を受け、それに同意し議決を行ってきました。議会として、もっと感染症対策について積極的に関わっていく必要があるという意見が議員各位からあり、感染症についての情報収集や国・県・町の施策に対して提案・要望等を行ってため特別委員会を設置しております。特別委員会設置後は、議員それぞれの意見を出し合い、議会内で協議し国に意見書を提出したり、町に事業の提案をしたりするなどの活動をしております。(議会)



内山公民館



沖の原公民館

町に対する要望・意見

質問 新型コロナウイルス感染症対策、地方創生臨時交付金対象事業は町独自で決められる事業内容なのか。

回答 国(内閣府)から発行された、活用事例集を参考にして舟形町に必要と思われる感染症予防対策を国に申請し予算化しています。第2次補正では、議会として各議員の意見を出し合って取りまとめ町に要望しています。元気にくらしましょう品券事業、地区公民館感染症対策支援事業、公共施設Wi-Fi環境整備事業などは、議会から特に要望した事業です。(議会)

質問 地区公民館感染症対策支援事業の上限30万円は、予算額600万円以内であれば上限を増額することは出来ないのか。また、実施期間が令和3年3月までとあるが要望している設備の設置は終了するのか。

回答 現在、担当課では各地区公民館長と連絡をとり、事業利用の有無を確認しているところです。現段階では上限30万円で進めています。(議会)
実施期間については、今年度の国交付金を財源としており、令和2年度限りの事業ですので、令和3年3月末までに設置を終了(事業完了)して頂くよう、お願いします。(教育課)